

平成31年3月1日

保護者の皆様

新潟市立庄瀬小学校
校長 高島 純

庄瀬小学校教育ビジョン 年度末達成状況と今後の取組

早春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から、学校の教育活動にご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、平成30年度庄瀬小学校教育ビジョンで設定した重点目標、進んで学ぶ子（知）、認め合い自信をもち行動する（徳）、健康な体をつくる子（体）の達成に向けて取り組んできました。ここに年度末の達成状況をお知らせいたします。下記にお示ししました達成状況を踏まえ、来年度の教育活動に生かして参りたいと思います。

【進んで学ぶ子】

〈達成状況〉

- | | |
|--|--------------------------------|
| ○主体的に課題に取り組み、他の児童とかかわり合いながら学習し、学習を深めていると評価できた児童の割合（指導者の分析評価） | 【前期との比較】 |
| → | 86%（A評価） 【3%↑】 |
| ○児童が自身の学びを自覚した「振り返り」を行っている」と評価できた児童の割合（指導者の分析評価） | → 82%（A評価） 【1%↓】 |
| ○授業との関連を意識した家庭学習に進んで取り組んでいる」と評価できた児童の割合（指導者の分析評価） | → 80%（A評価） 【5%↑】 |
| ○楽しく読書活動に取り組み、本に親しんでいる」と評価できた児童の割合（指導者の分析評価） | → 87%（A評価） 【3%↑】 |

〈今後の取組〉

今年度は、重点目標「進んで学ぶ子」の育成を目指して、「子どもが主体的・協働的に学ぶ授業づくり」「家庭学習の充実」「読書活動の充実」の3点に焦点付けて取り組んできました。授業づくりでは、単元構成を工夫したり、子どもの学習意欲を喚起するような学習課題を設定したりしてきました。また、映像やICT機器を使用するなどして、どの子どもも主体的に学習に取り組めるよう工夫しました。授業の中では積極的に話し合い活動など、子ども同士がかかわり合う場を設定してきました。少人数学級のよさも生かされ、一人一人が自分の考えを発表する場が確保されています。今後は、100%の子どもたちが自信をもって、進級・進学ができるよう、さらに、個に応じた支援をしていきたいと思います。

家庭学習に関しては、前期に比べ、数値的には向上しており、改善が見られました。家庭学習のメニューを示したり、より取組をしている子どものノートを紹介したりした結果だと思います。しかし、家庭学習の取り組み方に差が見られます。全員が主体的に取り組めるような方法を考えていきます。ご家庭でも、家庭に戻ってから宿題以外の家庭学習が定着するよう、声掛けや環境作りなどのご協力をお願いいたします。学校と家庭が連携し、家庭学習の定着を図っていききたいと思います。来年度も職員一同、全力で「進んで学ぶ子」の育成を目指して、授業改善等に取り組んでいきます。

【認め合い自信をもち行動する子】

〈達成状況〉

- 「自分や友だちのよいところが分かる」と肯定的にとらえていると評価できた児童の割合（児童アンケート＋指導者の分析評価） → **99%（A評価）【10%↑】**
- 「自分は困ったときに悩みを相談できる人がある。」と肯定的にとらえていると児童の割合（児童アンケート） → **98%（A評価）【9%↑】**
- 「自分はクラスやひまわり班で役に立ったり、必要とされたりしている」と肯定的にとらえていると評価できた児童の割合（児童アンケート） → **98%（A評価）【±0%】**

〈今後の取組〉

どの項目も高い数値を示しています。学級やひまわり班など、様々な場面で一人一人が大切にされ、互いのよさを認め合える支持的風土があります。日々の授業や帰りの会などでのほめ合い活動や、全校登山・ひまわりフェスティバル・ひまわり長縄大会などの縦割り班を活かした行事で一人一人が活躍できる場を設定し、よさを伝え合う活動を多く取り入れた結果だと言えます。

また、担任だけでなく、全職員が子どもたちに声を掛けたり見守ったりしてきたことは、子どもが安心して学校生活を送ることにつながっていると考えます。更に、地域の方からも、いつも温かい声を掛けていただいたり、優しく接していただいたりしています。地域をあげて、子どもたちを心豊かな子どもに育てていただいていることに深く感謝いたします。今後も、子どもたちの温かい人間関係づくりを継続していきます。より多くの人とかかわり合うことで、自信をもって行動できるよう、全職員で支援していきます。

【健康な体をつくる子】

〈達成状況〉

- 「児童が進んで運動に取り組むように、体育の授業の中で様々な運動に親しませたり、体力が向上するような取組を工夫したりした」と肯定的にとらえている指導者の割合（指導者の自己評価） → **100%（A評価）【14%↑】**
- チャレンジタイムに進んで参加し、運動に親しんでいると評価できる児童の割合（指導者の分析評価） → **94%（A評価）【2%↑】**
- 「健康あっぷカード」の11月の実施結果から生活習慣の向上に改善が見られる児童の割合（指導者の分析評価） → **84%（A評価）【7%↓】**

〈今後の取組〉

体育の授業のはじめには、どの学年も、走力向上に向けた運動を取り入れました。下学年では鬼あそび、上学年では時間走を実施しました。また、休み時間は、ボール遊びを促し、たくさんの子が体育館でボールを使って体を動かしていました。このように休み時間にも進んで運動することが、体力向上につながると考えます。

来年度は、チャレンジタイムや体育の授業の運動について、全校共通のカードを作るなどの工夫をし、運動意欲を喚起していきます。そして、日々の体育の授業を充実させ、その運動特有の楽しさに触れることができるように取り組んでいきます。

11月の「健康あっぷカード」の取組から、多くの学年でメディアの使用時間に改善が見られました。自分で決めたためあてを意識して、時計を見て行動をしている子が多く見受けられました。しかし、「健康あっぷ週間」以外では、なかなか継続できないという課題もあります。今後もよりよい生活習慣が身に付くよう、学校と家庭で協力して取り組んでいきましょう。

